

問題No.1

大規模小売店舗に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. もともと百貨店は 100 の商品ラインがそろっていることから名づけられたが、最近の地方では 40 程度のラインまで絞って展開する店舗も多い
2. 大規模店舗には、専門店、百貨店、複合型商業施設、GMS などがある
3. 日本型SPAとは、製造販売店で生活者のニーズに対応した新業態型店舗である
4. 大規模小売店舗立地法が対象とする大型店は、店舗面積 1,000 m²を越えるものである

【解説】

2. 専門店だけでなく専門大店が大規模店舗に該当する。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」Ⅴ機能計画から施設計画へ 2. 大規模小売店舗 業態の捉え方 p.212～213 参照

答 2

問題No.2

建築様式に関する次の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 大仏様 ----- 東大寺南大門
2. 数寄屋造り ----- 桂離宮
3. 神明造り ----- 伊勢神宮正殿
4. 書院造り ----- 法隆寺金堂

【解説】

4. 書院造りは、武家の住宅形式として発達している。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」Ⅵ建築計画 1. 建築歴史 p.232～234 参照

答 4

問題No.3

室内の空気汚染に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 空気汚染の原因となるもので、人体を発生源とするものとしては、炭酸ガスや体臭などがある
2. 一般の室内における二酸化炭素(CO₂)濃度の許容量は、0.1% (1,000ppm) である
3. 不完全燃焼で発生する一酸化炭素(CO)は、無色無臭の有毒ガスである
4. 一酸化炭素(CO)濃度の許容量は、0.05% (500ppm) である

【解説】

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」Ⅵ建築計画 2. 建築計画 p.244 参照

問題No.4

建築計画に関する次の用語の組み合わせのうち、最も関係の少ないものはどれか。

1. モジュール ----- 基準寸法
2. レンタブル比 ----- プレファブ工法
3. フリーアクセスフロア ----- O A機器
4. コアシステム ----- フレキシビリティ

【解説】

レントブル比は有効率のことである。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 2. 建築計画 p. 251～252 参照

問題No.5

建築物の防火区画に関する次の記述のうち、建築基準法上、最も不適当なものはどれか。

1. 面積区画として、一定面積ごとの防火区画が定められている
2. 面積区画の他に、縦穴区画、用途別防火区画等が定められている
3. スプリンクラー設備が設置されている部分については、面積区画が免除されている
4. 11 階以上の部分には、より厳しい面積区画が定められている

【解説】

スプリンクラー設置部分はその 1/2 が面積免除。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 2. 建築計画 p. 251～252 参照

問題No.6

建築構造に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建築物の剛心と重心は、できるだけ離す方がよい
2. S R C造は、同規模、同階数の R C造よりも靱性があり、7階以上及び大スパンの建築に適する
3. S造は、単位床面積当たりの重量が R C造よりも軽い
4. R C構造には、ラーメン式構造、壁式構造、曲面版構造などがある

【解説】

1. 捻りの原因となるので、できるだけ近づけるほうが良い。改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 2. 建築構造 p.275 参照

答 1

問題No.7

建築設備に関する次の用語の組合せのうち、最も関係が少ないものはどれか。

1. 消火設備 ----- ドレンチャージャー設備
2. 給水設備 ----- クロスコネクション
3. 衛生設備 ----- サイフォンジェット方式
4. 空調設備 ----- フロアダクト

【解説】

改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 2. 建築設備 p. 286～291 参照

答 4

問題No.8

残響に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 最適残響時間は、講演などの話を主とする部屋より音楽に使用する部屋のほうが長い
2. 残響時間を計算する上で、一般に室温は考慮しなくてよい
3. 天井や壁の吸音力を大きくすると、残響時間は長くなる
4. 室容積を大きくすると、残響時間は長くなる

【解説】

改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 5. 音響計画 p. 309 参照

答 3

問題No.9

VMDに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. VMDは、固定部分と変化する部分を意識して明快にする
2. VMDとして有効な店内ギャラリー方式では、テーマ、商品、差別化スペースを意識すると良い

3. VMDとは、品揃えされた売り場を顧客の視覚に有効に入れることである
4. VMDとは、5つの感覚効果をねらったマーチャンダイジングである

【解説】

VMDとは、視覚的效果をねらったものである。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 6.VMD p.312参照

答 4

問題No.10

設計に当たっての留意事項に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 耐震設計法は、大地震発生のつど見直され、新たな改正と規準の策定が行われてきた
2. ISO（世界標準）でのPDCAサイクルとは、P（計画）D（実行）C（点検）A（是正）である
3. 施設の安全性として構造耐力、防火耐火、避難、換気、設備などがある
4. ISO9000 シリーズとは環境マネジメントであり、ISO14000 シリーズとは品質システムである

【解説】

4. ISO9000シリーズとは品質システムであり、ISO14000シリーズとは環境マネジメントである。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 9.世界標準/ISOに適合する設計 p.327参照

答 4

問題No.11

バリアフリー設計に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 車イス利用者のための駐車スペースの幅は250cm必要である
2. 階段の勾配はできるだけ緩くし、踊場には回り段を設けない
3. 扉は引戸の自動ドアが望ましい
4. 身障者用便所の内法は、2m×2m以上とし、便座の周囲に手すりを設ける

【解説】

1. 350cm以上必要である。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 9.バリアフリー設計 p.329～330参照

答 1

問題No.12

シックハウスの原因物質に関する次の記述のうち、最も関係の少ないものはどれか。

1. エチレン
2. ホルムアルデヒド
3. トルエン
4. フロン

【解説】

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 9.シックハウス p.334 参照

答 4

問題No.13

建築の情報化に関する次の用語の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. LAN ----- 構内情報通信網
2. PBX ----- 画像情報
3. CAD ----- コンピューター図面作成
4. ISDN ----- 高度通信デジタルネットワーク

【解説】

PBXは、構内交換機のことである。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」VI建築計画 9.情報活用のための設計 p.338～340 参照

答 2

問題No.14

設備システムの適切化の設計に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. システムの集中と分散において、各階方式とは、主機械室の他に副機械室を各階に設置し、階ごとに制御する方式である
2. エネルギーセンターの位置において、高層階集中型とは、屋上などの非居住空間を設置場所として利用するものである
3. 搬送システムの位置において、ペリメーター型とは、搬送ラインを二つに分け、建物の両端に設ける型である
4. 設備計画のゾーニングにおいて、法的条件によるゾーニングは、防火、防煙、消火、避難等の区画による

【解説】

答 3

問題No.15

複合型商業施設に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. テナントが支払うべき賃料形態には、固定制と歩合制がある
2. プランニングとは、市場、業種業態構成、施設、コミュニケーションなどの諸戦略を考えたり経営計画を立てたりすることである
3. 複合商業施設の中の飲食店の基準となる業種業態構成比は、50%である
4. フローチャートとは、基本計画から運営実施までの流れをソフトとハードを分かりやすく図解したものである

【解説】

3. 25～30%である。改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」V機能計画から施設計画へ 3.複合型商業施設 p.214参照

答 3